第13回市原湖畔美術館子ども絵画展

「まどのむこう、きみのセカイ」

ゲストアーティスト：原田郁（現代美術家）

展覧会概要

会　　期	2025年11月29日［土］– 12月29日［日］
開館時間	平日　10：00～17：00　土曜・祝前日　9:30～19:00　日曜・祝日　9:30～18:00 ＊最終入館は閉館時間30分前まで
休　館　日	月曜日（祝日の場合は翌平日）
料　　金	一般：500（400）円/大高生・65歳以上：400（300）円 ＊（）内は20名以上の団体料金。 ＊中学生以下無料・障害者手帳をお持ちの方（または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示）とその介添者（1 名）は無料
主　　催	市原市、市原湖畔美術館［指定管理者：（株）アートフロントギャラリー］
協　　賛	株式会社中川ケミカル
後　　援	市原市教育委員会、市原市小学校長会、市原市私立幼稚園協会、市原ぞうの国、株式会社バンブーフォレスト、小湊鐵道株式会社、シティライフ株式会社、高滝湖観光企業組合、千葉日報社、南いちはら応援団新聞 伝心柱
お問合せ	市原湖畔美術館 TEL:0436-98-1525　E-mail:info@lsm-ichihara.jp https://lsm-ichihara.jp/

仮想空間と現実が交差する原田郁の世界と子どもたちの「セカイ」が出逢う

第一線のアーティストが審査にあたり、子どもたちの作品とコラボレーションする「市原湖畔美術館子ども絵画展」。市原湖畔美術館開館時より毎年開催され、今年度で第13回を迎えます。今回はゲストアーティストに美術家・原田郁さんを迎え、”まどのむこうになにがみえる？”をテーマに、市原市内の子どもたちから募集した作品を展示いたします。おうちや学校の"まど"をのぞいたら、どんな景色が広がっているでしょう？虹色の空、不思議な生き物たち、絵本の中のような町…もしかしたら誰もみたことがない、ひみつの世界かもしれません。仮想空間と現実が交差する世界を描き続けている原田さんのセカイと子どもたちのセカイが新しい景色をつくり出します。

展覧会の見どころ

① 約270 点の子どもたちの作品と原田郁のコラボレーション

集まった1078点の作品から原田さんと当館館長、北川フラムが選出した約270 点の子どもたちの作品が、原田さんの彫刻や絵画とともに展示されます。思い出の場所、素敵だと思った景色、心に広がる自分だけの世界…ひとりひとりが捉えた「まどのむこう、きみのセカイ」をお楽しみください。

原田郁《WINDOW-lakeside #001》2025

②仮想空間と現実世界を往還する原田さんの作品群

本展では、ゲストアーティスト、原田さんの作品も多数展示。3Dソフトを使って自分だけの仮想空間をつくり、その中で風景を切り出して絵画として描かれた「理想郷」としての作品は、別世界へ私たちがリンクするための入り口であるかのようです。

③会期中のワークショップ「みんなのまどでつくるまち」公開

原田さんが継続して制作してきた”まど”というテーマから、子ども向けのワークショップを開催します。ワークショップでは、「まどから見える景色」を描きます。展覧会の会期中描いた絵は“家のまど”になって、展示室の吹き抜け空間にカラフルでにぎやかな街が広がります。

ゲストアーティスト

Photo：松野義也

原田　郁（はらだ　いく）

1982年 山形県生まれ。2008年末コンピューターの中に家や公園のある仮想空間を構築し、その世界の中に立って見える風景を描き続けている。仮想世界と現実世界を往来しながら行う制作は、絵画作品にとどまらず、近年では立体作品へと展開している。これまで多くの個展を開催し、海外アートフェアなどにも多数参加。近年の展示に個展〈KAATアトリウム映像プロジェクト：原田郁〉KAAT神奈川芸術劇場/2024、〈瀬戸内国際芸術祭2025〉にも出展。

会期中イベント

■ワークショップ
「みんなのまどでつくるまち」

「まどから見える風景」を原田さんと一緒に描いてみましょう。描いた絵は展覧会会期中、”家のまど”になって、会場にカラフルでにぎやかな街が広がります。

展示イメージ

【日程】
2025年11月29日（土）　13:00～15:00

【会場】市原湖畔美術館 多目的ホール
【対象】～小学6年生までの子どもたち
【定員】20名（事前要申込み）
【参加費】一人500円　※入場には、別途観覧料が必要です。
【お申込み方法】
2025年10月29日（土）10:00開始
美術館HPのイベント情報にある受付フォームにてお申込みください。定員に達し次第申込みを締め切ります。詳細は美術館HPをご確認ください。

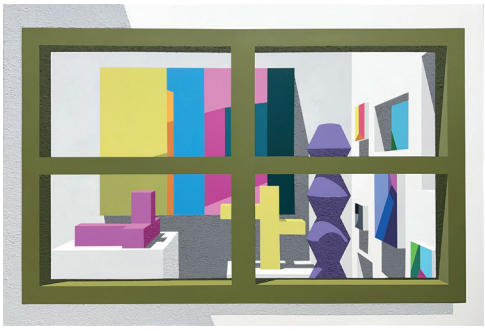
「市原湖畔美術館 子ども絵画展」これまでのゲストアーティスト・審査員

第1回(2013年度)　会場構成：assistant(建築家ユニット)、特別審査員：保科豊巳 氏(東京藝術大学美術学部長（当時）)
第2回(2014年度)　会場構成：安西一憲 氏（ランドスケープデザイナー)、特別審査員：現代美術家/日比野克彦 氏(現代美術家)
第3回(2015年度)　会場構成：伊藤史子 氏（デザイナー)、ゲスト審査員：小沢剛 氏(現代美術家)
第4回(2016年度)　会場構成：現代美術家/原倫太郎 氏＋原游 氏、ゲスト審査員：開発好明 氏(現代美術家)
第5回(2017年度)　会場構成：現代美術家/KOSUGE1-16(土谷享 氏＋車田智志乃 氏)
　　ゲスト審査員：KOSUGE1-16 土谷享 氏(現代美術家)
第6回(2018年度)　会場構成・ゲスト審査員：長谷川仁 氏(現代美術家)
第7回(2019年度)　会場構成・ゲスト審査員：鬼頭健吾 氏(現代美術家)
第8回(2020年度)　会場構成・ゲスト審査員：成田久 氏(アーティスト・ディレクター)　※コロナ禍のため一般公開中止
第9回(2021年度)　会場構成・ゲスト審査員：成田久 氏(アーティスト・ディレクター)　※コロナ禍のため一般公開中止
第10回（2022年度）　会場構成・ゲスト審査員：鴻池朋子 氏(現代美術家)
第11回（2023年度）　会場構成・ゲスト審査員：松井えり菜 氏(現代美術家)
第12回（2024年度）　会場構成・ゲスト審査員：荒井良二氏(絵本作家)

広報用画像

①

②



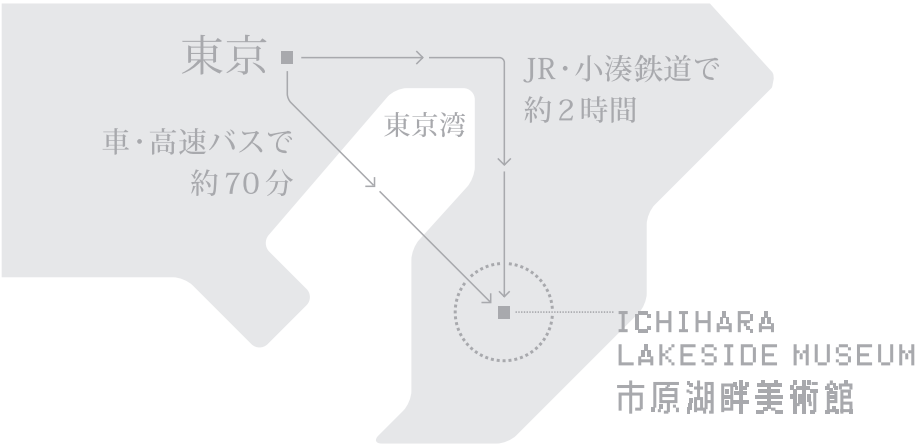
③

④

①原田郁《WINDOW-lakeside #001》2025
②原田郁《WINDOW 2023 #001》2023
③原田郁《WINDOW 2024 #001》2024
④撮影：松野義也

アクセス

所在地：〒290-0554　千葉県市原市不入75-1
鉄道で：JR 内房線五井駅乗り換え　小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20 分/タクシー5分
お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分
高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1 時間
（市原鶴舞バスターミナルよりタクシー　約5分）



広報についてのお問合わせ

市原湖畔美術館　三浦・松崎
tel:0436-98-1525　fax：0436-98-1521
press@lsm-ichihara.jp　www.lsm-ichihara.jp

美術館のSNSでは、美術館や展覧会情報を発信しています。
Facebook ：@ichiharalakesidemuseum
Instagram ：@lsm_ichihara
X（旧Twitter）：@LSM_ICHIHARA